

とを報告した。私はそのことを引用し、また、最近附属幼稚園でカナリヤやニワトリをはなし飼いにしていると、きつただれかが鳥を抱いたり、頭にのせたりしていることを語った。

その研究会では、ある発達おくれの子どもの保育事例報告があった。その議論のときに「子どもの行動としては、とくに大きな進歩もなかったと思うが、それでよいのだと思う。その子をかわいいと思つてそばにいてくれる人があることが重要で、行動がどのようにのびたかということは考える必要のないことだ」という保育担当者の感想がのべられた。一般にその場合、結果としては教育効果は上るのであるが、教育者としては、教育効果をめざした教育をまず考えるところ。世間の風潮に流されてはならないと思う。

## 夜

家に帰る途中で買ったサンデー毎日の

「お母さんに急告！戦後の文字教育は根本的に間違っていた」に目を通した。マスコミが発達して以来、こういうこと少しばしば起きている。局部的にもを見て、親にあせりを抱かせるマスコミは、どんなに多くの子と親を苦しめているかを自覚すべきである。（記録提供者の親は責められない。）

また、夜、親戚の若い母親から電話があり、四月から幼稚園にいきはじめて四歳の子どもが、幼稚園にいかなくなつた、どうしたらよいかという。四十五人が一クラスにいて、その子は耳をふさいで歩いているのだそうである。先生がこわいというが、自分が怒られるのではなく、大きな声で他の子にいうのがこわいのだという。二週間たつて、とうとう幼稚園にいかなくなつた。四十人もの幼児を一人の先生が担当することは不可能なことをしているのだということ、自明なことができない現代。

## 幼児の教育 第七十巻 第八号

八月号 © 定価一〇〇円

昭和四十六年七月二十五日印刷  
昭和四十六年八月一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一

印刷所 凸版印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所  
所 フレーベル館にお願いいたします